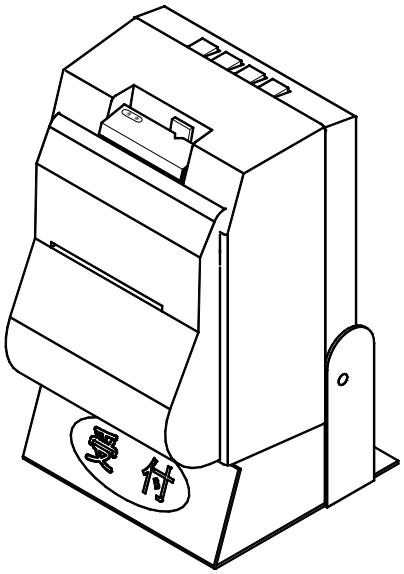
# 小型発券機

Ｔ－０１

## 操 作 説 明 書




---

この度は、小型発券機をお買い上げいただき、誠に有難うございました。
正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みのうえ、末永くご愛用くださるようお願い申し上げます。お読みになった後は、大切に保管してください。

---

**ナダ電子株式会社**

技２Ｓ－０９１１１２

# 安全上のご注意

※ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
　又、お読みになったあとは 本製品の近くなど いつでも見られる場所に必ず保管して下さい。

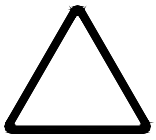
この「安全上のご注意」では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示します。

注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の程度によって「**警告**」、「**注意**」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
その表示と意味は次の様になっています。
内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

### ☆ 危害・損害の程度とその表示

| | |
|---|---|
| **警告** | この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が死亡 又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| **注意** | この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容 及び 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

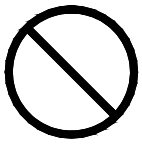
**絵表示の例**



**この記号は一般的な注意、警告、危険の通告に使用します。**
**図の中に具体的な注意内容が描かれています。**
（例）

：一般的な注意事項

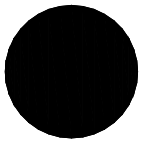
：感電注意



**この記号は一般的なしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。**
**図の中に具体的な禁止内容が描かれているものもあります。**
（例）

：分解禁止

：接触禁止



**この記号は必ず従っていただく内容であることを告げるものです。**
**図の中に具体的な指示内容が描かれています。**
（例）

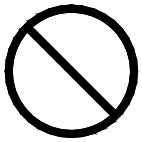
：一般的な行為の指示

：電源プラグ抜け

# ⚠ 警告

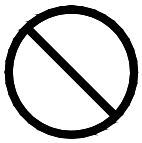
**電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのない様に刃の根元まで確実に差し込んで下さい。**

ほこりが付着したり 接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。
（プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。）



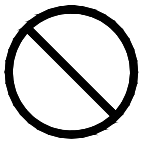
**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。又、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないで下さい。**

電源コードが傷んだ時は、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用しますと火災・感電の恐れがあります。



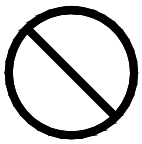
**表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。又、タコ足配線はしないで下さい。**

火災・感電の恐れがあります。
（交流１００Ｖ ５０／６０Ｈｚの商用電源コンセントに接続して下さい。）



**必ず電源を接続する前にアース接続して下さい。**

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災・感電の原因となる恐れがあります。



**取り外したカバー、キャップ、ネジ等は小さなお子様が誤って飲むことがないように、又、本装置を包装しているビニール袋は誤って被ることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いて下さい。**

万一の場合は、ただちに医師と相談して下さい。

## ⚠ 警告

**濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。**
感電の恐れがあります。

**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないで下さい。**
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

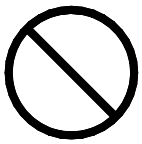
**本機を分解・改造しないで下さい。**
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。

**本機のキャビネットを外さないで下さい。**
**内部の点検、修理は販売店にご依頼下さい。**
内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの恐れがあります。

**湿気やほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないで下さい。**
火災・感電の原因となる恐れがあります。

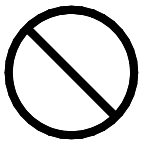
**本機の上や近くに薬品や水などの入った容器 又は 金属物を置かないで下さい。**
万一、こぼれたり 中に入った場合は、火災・感電の原因となる恐れがあります。
**異物（水、液体、金属片など）が中に入った時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

## ⚠ 警告



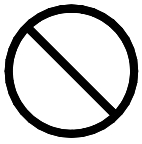
**本機の開口部等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。**

火災・感電の原因となる恐れがあります。



**本装置に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。**

火災・感電の原因となる恐れがあります。



**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動や衝撃の多い場所には置かないで下さい。**

落ちたり 倒れたりして、けがの原因になることがあります。万一、本機を落としたり キャビネット等を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

**万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがする等の異常が見つかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。**

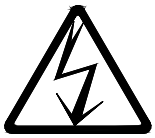
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

**機器を落としたり、カバー等を破損した場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、販売店にご連絡下さい。**

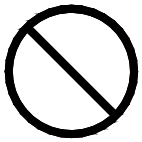
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

## ⚠ 警告



**オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。**

感電の恐れがあります。



**オプション機器を接続する場合には、取扱説明書に書かれていない機器は接続しないで下さい。**

火災・感電の原因となる恐れがあります。

## ⚠ 注意

**本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。**
**又、接続ケーブルなども外して下さい。**
**作業は足元に十分注意して行って下さい。**

コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。

**電源コードは、必ずプラグを持って抜いて下さい。**

電源コードを引っ張りますと　コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

**通電したまま　本機をカバー等で被わないで下さい。**
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

**直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。**
高温によってカバーなどが加熱、変形、変色、溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

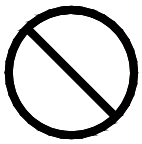
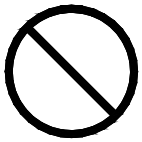
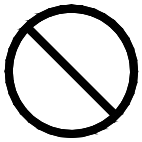
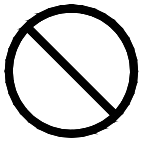
**本機の上に重い物を置かないで下さい。**
置いた物がバランスをくずして倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

**調理台や加湿器のそば等　油煙や湯気があたる様な場所に置かないで下さい。**
火災・感電の原因となる恐れがあります。

**この機器の通風孔をふさがないで下さい。**
通風孔をふさぐと　内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機を壁ぎわ等に設置する場合は、必ず１０cm 以上離して下さい。

**結露状態のまま使用しないで下さい。**
**火災・感電の原因となることがあります。**
室温の低い所から暖かい場所に移動した場合　又　室内の温度を急に上げた場合は、ご使用の前に３０分以上放置して結露状態を取り除いて下さい。

# ⚠ 注意

| | |
|---|---|
|  | **電源コードを熱器具に近づけないで下さい。**<br>コードの被覆が溶けて、火災・感電の恐れがあります。 |
|  | **カードなどの差し込み口に指などを入れないで下さい。**<br>けがの原因となることがあります。 |
|  | **記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等を巻き込まれない様にご注意下さい。**<br>けがの原因となることがあります。 |
|  | **プリンタへのヘッド部分には触れない様にご注意下さい。**<br>けが・火傷の原因となることがあります。 |
| | **連休等で 長期間本機を使用しない時は安全のため、必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。** |
| | **落雷の恐れがあるときは、安全のため 必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。**<br>火災の原因になることがあります。 |
| | **重量のある機器を移動する場合は、必ず２人以上で運んで下さい。**<br>腰や手を痛める恐れがあります。 |

# ＊＊＊　目　次　＊＊＊


□　使用上の注意……1

□　付属品の確認……3

□　各部の名称……4

□　使用方法……6

□　ロール紙（記録紙）のセット方法……7

□　各種設定方法について……8

□　通常モード……9

□　操作モード……10

1．　発券番号の指定をする……10

2．　発券内容の選択……11

3．　日付、時刻の修正……12

□　設定モード……13

1．　発券方法の選択……13

2．　受付終了時刻の設定……14

3．　リセット時刻の設定……15

4．　発券枚数の設定……16

5．　最後のカット方法の設定……17

6．　印字濃度の設定……18

7．　初期値の設定……19

8．　ＲＳ－２３２Ｃの設定……20

□　発券エラーについて……21

□　発券中のペーパーエンドについて……22

□　紙づまり時の対応……23

□　テスト印字について……24

□　表示について……25

□　内臓時計と停電対策用電池について……27

□　メモリーカードについて……28

□　メンテナンスの方法……28

□　消耗品の購入について……28

□　発券内容と指定番号について……29

□　使用例……43

# 口　使用上の注意

## ○設置について

・本機は振動が生じない様な場所で、ご使用ください。
・高温・多湿　又、直射日光の長時間当たる場所でのご使用は避けてください。
・揮発性有機溶剤・アンモニア・油などの液体贋霧環境　又は　砂や鉄分を含むホコリの多い場所でのご使用は避けてください。
・衝撃や振動の加わる場所や強い電磁界､腐食性ガスの発生する場所でのご使用は避けてください。
・電源ノイズの大きい機器（例えば空調機器）とは離してご使用ください。

## ○感熱紙の取り扱いについて

・使用、保存状態により発色(色が出る)、変色(色が変化)、退色(色あせる)する場合があります。

1　使用上の注意点

①爪、金属物で感熱紙表面を強くこすらない。
　発色の原因となります。
②糊を使用する場合は水生糊を使用する。
　溶剤系・ゴム系の糊、ステック糊は発色の原因となります。
③溶剤を含んだ筆記用具(油性サインペン、蛍光ペン)を使用しない。
　変色の原因となります。
④濡れた手で触らない。
　指紋がついたり、印字が不鮮明になる原因となります。

2　保存上の注意点

①直射日光、高温多湿の場所を避けて保管のこと。
　変色、退色の原因となります。
②印字済み感熱紙を青焼きコピー(ジアゾ方式)と密着させない。
　退色の原因となります。
③印字済み感熱紙をプラスティック製消しゴムに接触させない。
　長時間の接触は退色の原因となります。
④印字済み感熱紙を軟質塩化ビニール製のファイルで保管しない。
　退色の原因となります。
⑤長期保存が必要な場合はコピーしてください。
　感熱紙の特性上長期保存はできません。

## ○メカについて

・メカ部の主な板金部（プレス部）はメッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。

## ○印字ヘッドについて

・記録紙をプリンタ装置にセットしていない状態で印字しないでください。
　空印字しますと、印字ヘッドやプラテンが傷みます。
・印字中、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
・印字ヘッドは高温になります。温度が十分に下がるまで、手で触れないでください。

## ○衝撃について

・本機は精密な電子部品でできていますので、落としたり、物を当てたりして衝撃を与えないでください。

## ○水や異物について

・本機内部に水や液状の物が入ったり、ピン・クリップ等の金属類を落とし込んだりしないでください。本機が故障する可能性があります。
・水や液状の異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

## ○汚れについて

・本機の外装部ケースの汚れは、柔らかい布に水　又は　中性洗剤を少し含ませて軽くふき取ってください。
・シンナーなどの揮発性の物で拭いたりしますと、筐体ケースの変色などの原因となります。

## ○その他の注意

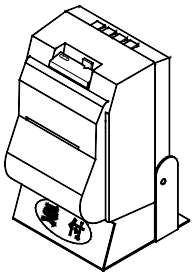
・本書の内容の一部　又は　全部を無断転載することはお断りします。
・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。
・本製品がお客様により、本書の内容に従わず不適当に取り扱われたり　又　ナダ電子㈱　及びナダ電子㈱指定の者以外の第三者により、修理・変更されたなどに起因して生じた損傷等につきましては、責任を負いかねますので御了承ください。

(C)ナダ電子株式会社　2009

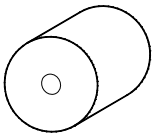
## 口　付属品の確認

梱包箱より、本体部を取り出して、付属品を確認してください。

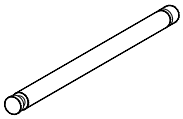
プリンタ本体



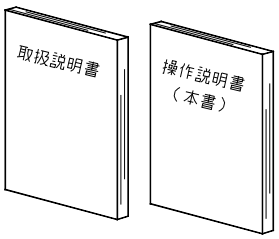
ロール紙：ＮＰ－５８０



ロールシャフト：Ｓ－１１

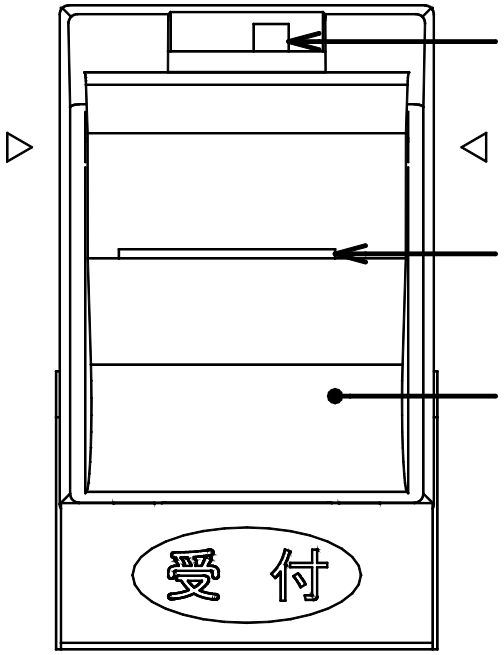


取扱説明／操作説明（本書）
（ＣＤロム）

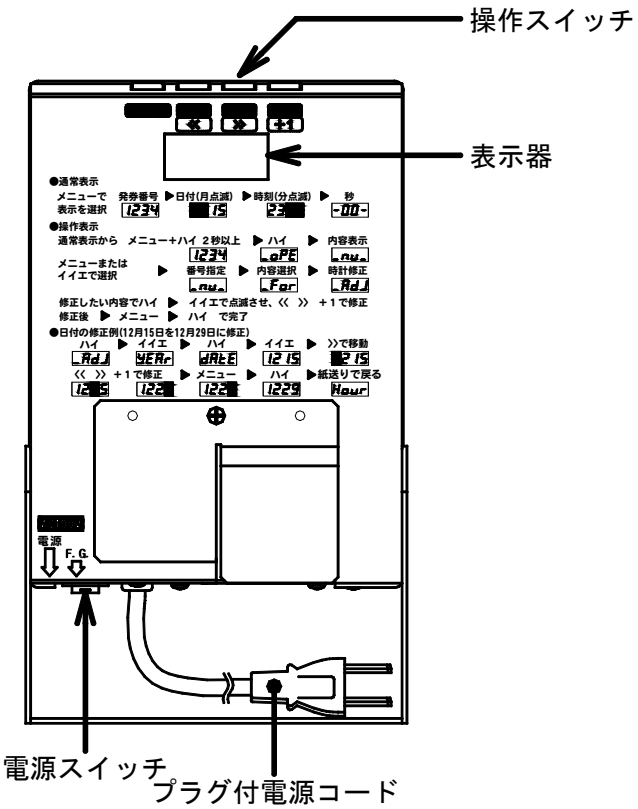


## 口　各部の名称

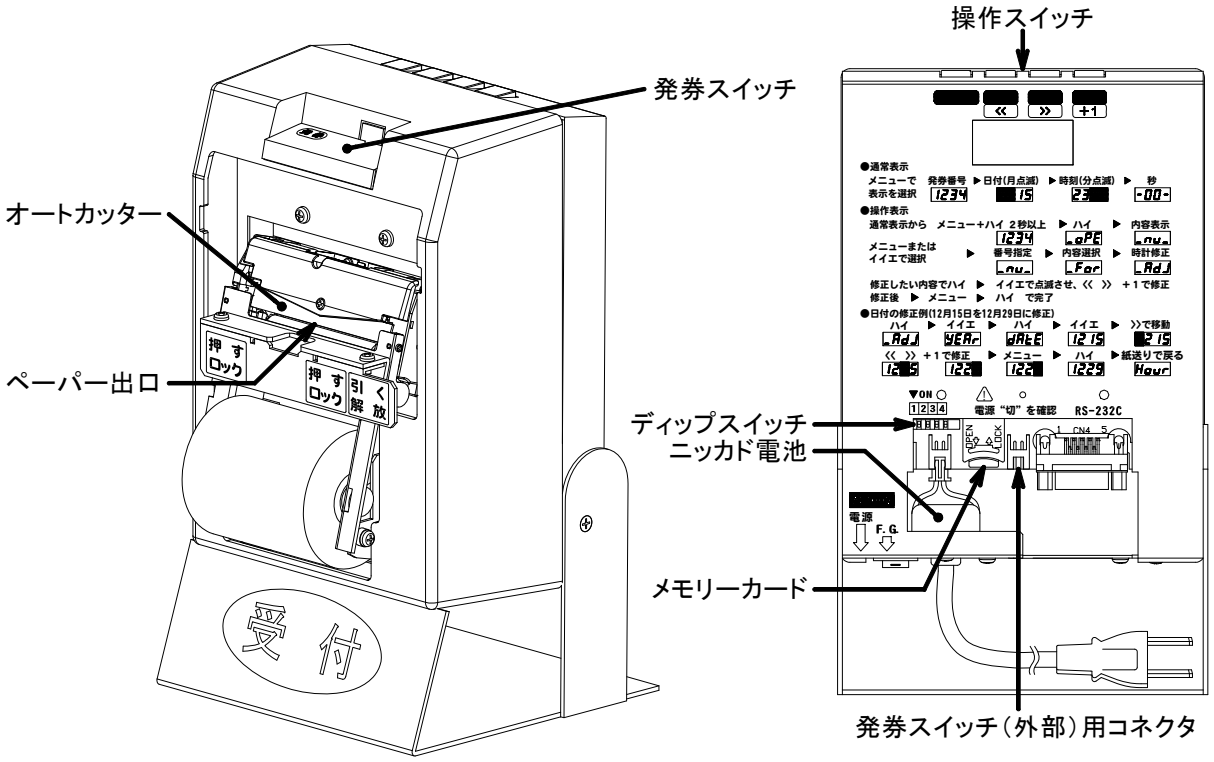
1．正面




2．背面



3．内部




1） 発券スイッチ

手動発券時の発券用スイッチです。押すと発券します。

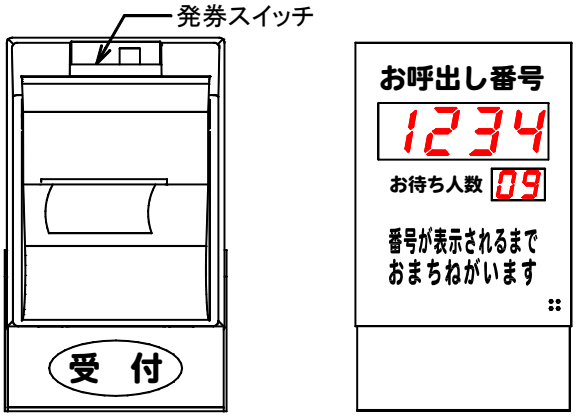
2） 操作スイッチ

日付、時刻の修正時に使用しますが、発券番号の指定や、登録している発券内容の指定を行うことが出来ます。

## 口　使用方法

1．次のページからのロール紙のセット方法や各種設定方法についてを参照して準備を完了します。

発券機　Ｔ－０１　　表示器　Ｄ－０１




2．手動発券の場合

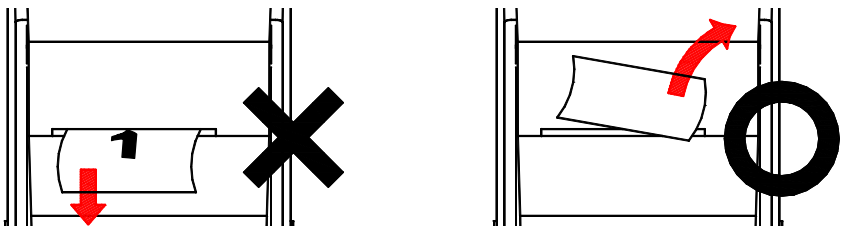
発券出口部に券がない場合に発券スイッチを押すと発券を開始します。
発券出口部に券があると発券は行いません。
この状態で再度押すと強制発券として発券を開始します。
（券がある状態で２度押すと強制発券となります）

3．自動発券の場合

発券出口部に券がない場合は自動的に発券を開始します。
発券出口部に券があると発券は開始されません。
ただし、この状態で発券スイッチを２度押すと発券を開始します。
（券がある状態で２度押すと強制発券となります）

4．注意

1）発券の最後のカットはフルカット（全切断）とハーフカット（一点残し）が選択できます。
発券中あるいはハーフカット後に券を前方に引いた場合にまれに券が前方へ引き出される時があります。



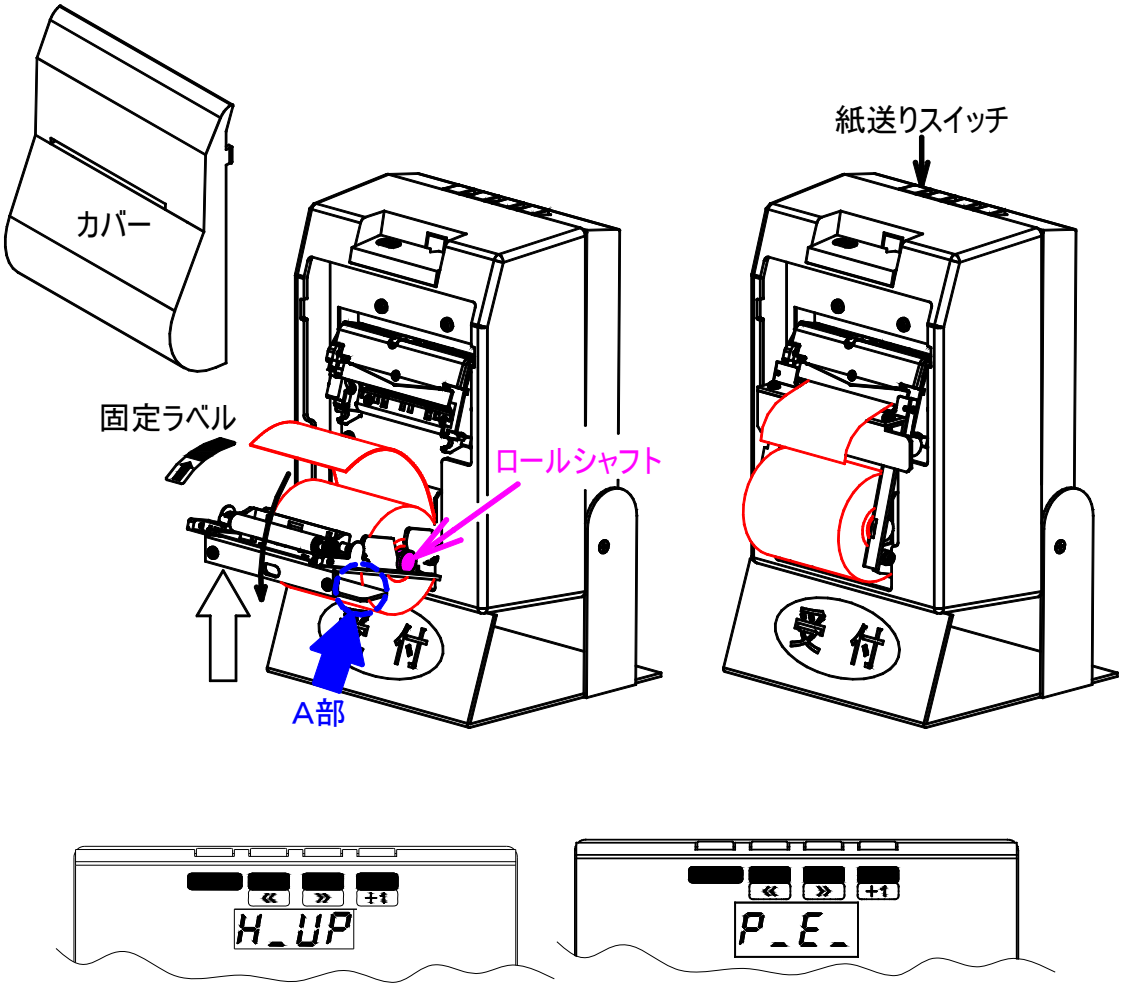
発券中に引く　　ハーフカットの券は上方へ引いて切り取る

発券出口センサー部に券があると次の発券が出来ない状態となるので、強制発券という機能を有しています。

2）２度押しによる強制発券は３秒以内に２度目の操作が必要です。
３秒経過後は元の待機状態となります。

## 口　ロール紙（記録紙）のセット方法

1．電源を切ります。
2．カバーを取り外します。
3．A部を持ち手前に引くとホルダー部が開きます。
4．ロール紙にロールシャフトを通し、ロール紙ホルダーに印字面が上になるように入れます。
5．ロール紙を引き出し、ホルダー部を閉じます。
（先端の固定ラベルののり跡には印刷出来ないので、のり跡以上引き出してください。）
6．電源を入れ、紙送りスイッチでロール紙がスムーズに送れるか確認して完了となります。
7．カバーを取り付けます。カバーは、下の出っ張りを本体に差込んでから取り付けてください。
8．電源投入後にセットする場合も前項の要領でセットしてください。ただし、自動発券モードの場合は発券スイッチを押してセット完了となります。(手動発券モードでは押す必要はありません)
9．注意：発券中のロール紙の交換時には電源を切らずに行います。




**注意**

ロール紙は、純正品（ＮＰ－５８０）を使用してください。
純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮できない上に
故障の原因となることがあります。

## 口　各種設定方法について

３つの操作、設定モードがあります。

［メニュー］［ ハイ ］などの表示は操作用の各スイッチを示します。

１．通常モード

メニューにより次の表示が選択出来ます。

発券番号　⇨　日付（月点滅）　⇨　時刻（分点滅）　⇨　秒

２．操作モード

通常モードで使用するために必要な設定を行います。

メニューにより次の操作が可能です。

操作モード　⇨　発券番号の指定　⇨　発券内容の指定　⇨　時計の修正

３．設定モード

当機を使用するための基本動作の設定やパソコン等を使用して通信する時の設定を行うことが出来ます。

システムの管理者のみが設定することにしてください。

（誤って異なる設定を行うと通信が出来なくなる場合があります。）

設定モード　⇨　発券方法　⇨　受付時刻の設定　⇨　リセット時刻の設定　⇨

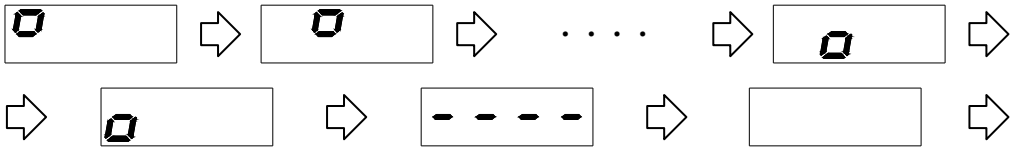
発券枚数の設定　⇨　カット方法の設定　⇨　印字濃度の設定　⇨　初期値設定　⇨　通信条件の設定

４．各項目を別項で説明してあります。

操作、設定モードでは各項必要な部分から読み始めても操作できるような記述をしています。

## □　通常モード

電源投入時に次の表示を行います。



［メニュー］で表示を選択出来ます。

発券番号

番号により表示位置が異なります。

0～9 の場合　10～99 の場合　100～999 の場合　1000～9999 の場合

日付表示

10 月 1 日の場合

左側　月　　右側　日で
月が点滅します。

時刻表示

23 時 59 分の場合

左側　時間　　右側　分で
分が点滅します。

秒表示

59 秒の場合

１秒毎に歩進します。

## 口　操作モード

1．発券番号の指定をする

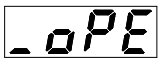
次に発券する番号を任意に決められます。

1）具体的な操作

次に発券する番号を １２３４ に修正します。

①[**メニュー**] と[ **ハイ** ] を同時に２秒以上押します。

右の表示で手を離します。




②[**メニュー**]を１回押して、発券番号を選択します。

③[ **ハイ** ]を押して現在の番号を確認します。

④[ **イイエ** ]を押して修正箇所を点滅させます。

[ 《 ]、[ 》 ]を押すごとに点滅部が移動します。

⑤[ ＋１ ]を押して １２３４ に修正します。

⑥[**メニュー**]を押すと、点滅が止まります。

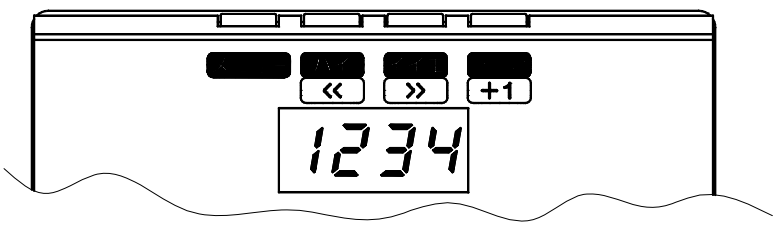
⑦確認し、[ **ハイ** ]を押して修正完了となります。

再度修正する場合は[ **イイエ** ]を押します。

⑧修正完了後は [ **紙送り** ] を２回押すと通常表示に戻ります。

2）修正値の範囲について

各桁の[ ＋１ ]による修正範囲は ０ ～ ９ で ９ の次は ０になります。




3）注意

複数台使用時の発券番号は制御機（Ｄ－０１）が管理しているため当機能は無効となります。

２．発券内容の選択

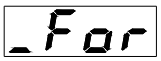
プリンタには９９種類の発券データが登録できます。どの内容の券を出力するかを決めます。

1）具体的な操作

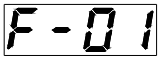
登録してある内容の３番目を選択する。

①[**メニュー**] と[ **ハイ** ] を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②[**メニュー**]を２回押して、発券内容指定を選択します。

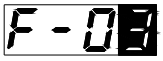



②[ **ハイ** ]を押して現在の選択値を確認する。

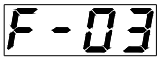



③[ **イイエ** ]を押して修正個所を点滅させます。
[ 《 ]、[ 》 ]を押すごとに点滅部が移動します。

④[ ＋１ ]を押して ３ に合わせます。




⑤[**メニュー**]を押すと、点滅が止まります。



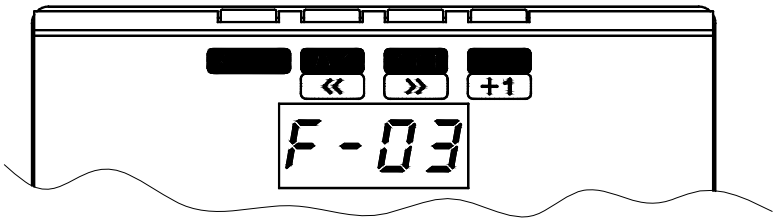

⑨確認し、[ **ハイ** ]を押して修正完了となります。
再度修正する場合は[ **イイエ** ]を押します。

⑩修正完了後は [ **紙送り** ] を２回押すと通常表示に戻ります。

2）修正値の範囲について

各桁の[ ＋１ ]による修正範囲は ０ ～ ９ で ９ の次は ０になります。

3）各番号による内容は別項 □ 発券内容と指定番号について を参照してください。



３．日付、時刻の修正

内蔵時計の日付、時刻の修正をします。

1) 具体的な操作

２００９年9月１４日１５時１３分１３秒を、２００９年１０月０１日１２時４７分１０秒に修正する。

①［**メニュー**］と［ **ハイ** ］を同時に2秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を押します。日付、時刻の修正に合わせます。

④［ **ハイ** ］を押して日付、時刻の修正モードに入ります。

⑤［**イイエ** ］で修正項目が変わるので、日付修正に合わせ、
［ **ハイ** ］で選択します。

⑥［**イイエ** ］を押すと点滅し、点滅部が修正できます。
［ ＋１ ］を1回押し、［ 》 ］で移動し、［ ＋１ ］を1回押して１０月を確認します。

⑦ 同様に日も修正して１００１にします。

⑧［ **メニュー** ］ を押して点滅を止め、［ **ハイ** ］で決定します。

⑨ 時刻修正 、秒修正も日付の修正と同様の手順で行います。
修正完了後は［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

⑩ 修正が完了するまで、内臓時計は歩進しています。

2) 修正値の範囲について

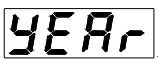
各項目の［ ＋１ ］による修正範囲は次ぎの通りで、分の上桁の場合５の次は0になります。

２ ０ ０ ９ 年 １ ２ 月 ３ １ 日 １ ５ 時 ４ ７ 分 ５ ５ 秒

0～9 0～9　0～1 0～9　0～3 0～9　0～2 0～9　0～5 0～9　0～5 0～9

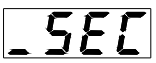
3) 修正エラーについて

誤った値を入力した場合には再度修正モードになります。例えば、１４月３２日や２６時の入力は可能ですが、最終確認で不適当とみなして再入力を求められますので正しい値を入力してください。

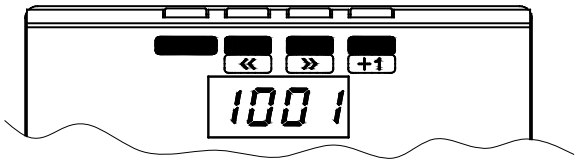
4) 年の修正は 

、日付は

、時刻は

、秒は 

で［ **ハイ** ］を押すと各修正モードになります。



## 口　設定モード

［メニュー］と［イイエ ］を２秒以上押すことで設定モードになります。

１．発券方法の選択

手動：発券スイッチが有効となります。

自動：発券スイッチが無効となり、発券した用紙を取り去ると自動的に次の発券を行います。

1）具体的な操作

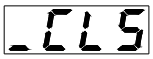
手動を設定します。

①［メニュー］と［ イイエ ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［メニュー］を１回押して、発券方法選択の表示にします。

③［ ハイ ］を押すと現在の設定内容が点滅表示します。
［ イイエ ］で設定値が変化します。

④［ ハイ ］を押して修正完了となります。

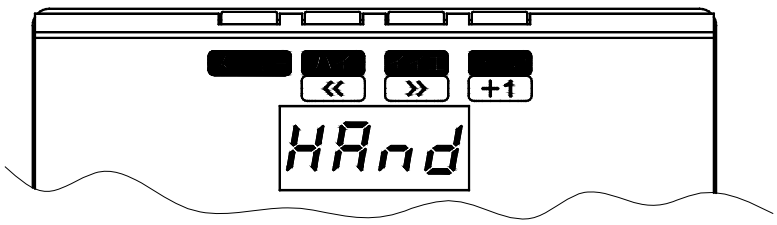



⑤ 設定完了後は［ 紙送り ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の内容について

［ イイエ ］を押すごとに手動、自動と変化します。

| | |
|---|---|
| 手動 | HAnd |
| 自動 | AUto |



2．受付終了時刻の設定

設定時間に発券スイッチを消灯し、表示が - - - - の終了表示となり受付が終了したことを示します。

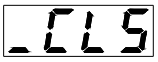
手動の場合発券スイッチを押しても発券せず、自動の場合取り去っても次の発券はしません。

1）具体的な操作

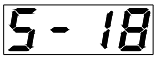
１８時に設定します。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

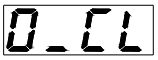
②［**メニュー**］を２回押して、受付終了時刻の設定表示にします。




③［ **ハイ** ］を押すと現在の設定時刻が点滅表示します。
［ **イイエ** ］を押して １８ を選択します。




④［ **ハイ** ］を押して設定完了となります。




⑤［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の範囲について

［**イイエ** ］による設定範囲は　１７～２４で２４の次は１７になります。

２４に設定すると当機能は無効となり常時受付状態になります。

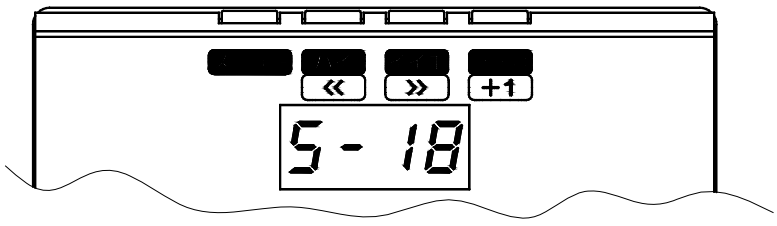
3）終了表示

電源投入時と同じ表示をしますが、輝度（明るさ）が低くなります。

4）受付開始

午前６時に表示が明るくなり受付状態になります。

受付終了後に強制的に受付状態にするにはいずれかの操作スイッチを押してください。



３．リセット時刻の設定

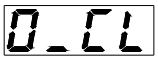
発券番号を初期値に戻す時刻を設定します。

1）具体的な操作

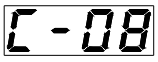
８時に設定します。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を３回押して、リセット時刻の設定表示にします。




③［ **ハイ** ］を押すと現在の設定時刻を点滅表示します。
［ **イイエ** ］を押して ０８ に設定します。




④［ **ハイ** ］を押して設定完了となります。

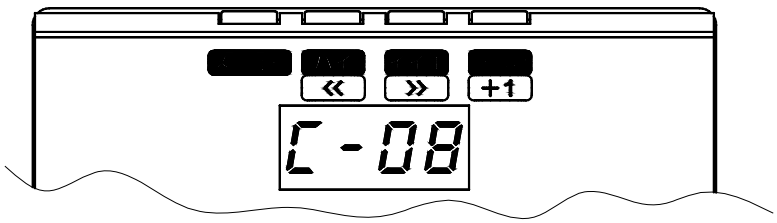
⑤［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の範囲について

［**イイエ** ］による設定範囲は ０５ ～ ０８、２０～２５。

２４は電源の投入時に初期値に戻ります。

２５は操作モードによるスイッチ操作（発券番号の指定）によるものとなります。



4．発券枚数の設定

同じ内容の券を複数枚発行する時に設定します。

1）具体的な操作

発券枚数を２枚にします。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を４回押して、発券枚数設定表示にします。

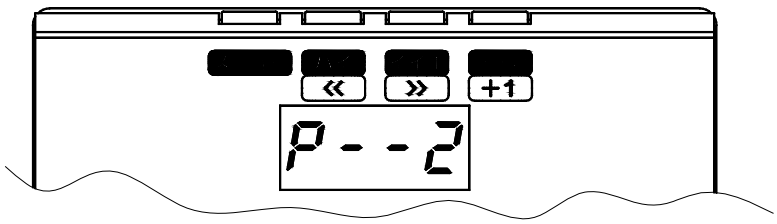
③［ **ハイ** ］を押すと現在の設定枚数を点滅表示します。
［ **イイエ** ］ を押して ２ に設定します。

④［ **ハイ** ］を押して設定完了となります。

⑤［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の範囲について

［ **イイエ** ］による修正範囲は １ ～ ８ で ８ の次は １になります。



5．最後のカット方法の設定

発券の最後に実行するカット方法を決めます。
フルカット：全切りを実行します。
ハーフカット：１点残しでカットされます。

1）具体的な操作

フルカットを設定します。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を５回押して、カット方法の設定表示にします。

③［ **ハイ** ］を押すと現在のカット方法を点滅表示します。
［ **イイエ** ］で設定値が変化します。

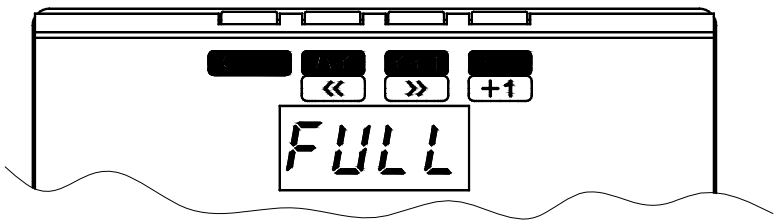
④［ **ハイ** ］を押して設定完了となります。

⑤［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の内容について

［ **イイエ** ］を押すごとにハーフカット、フルカットと変化します。

| | |
|---|---|
| フルカット | FULL |
| ハーフカット | HArF |



6．印字濃度の設定

使用する記録紙に合わせて印字濃度を設定します。

1）具体的な操作

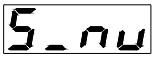
印字濃度を２に設定する。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を６回押して、印字濃度設定表示にします。

③［ **ハイ** ］を押すと現在の濃度を点滅表示します。
［ **イイエ** ］ を押して ２ に修正します。

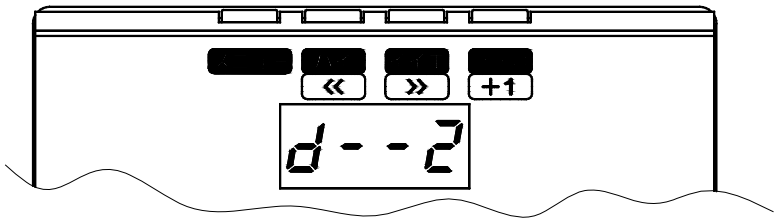
④［ **ハイ** ］を押して設定完了となります。




⑤［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の範囲について

［ **イイエ** ］による修正範囲は １ ～ ５ で ５ の次は １になります。
弊社標準の記録紙の場合は ２ としてください。
１が１番薄く、番号が大きいほど濃くなります。
印字ヘッドの寿命は番号が大きいほど短くなります。



7．初期値の設定

発券番号の初期値を設定します。

リセット時刻になると当番号が設定され、次の発券は設定番号が印刷されます。

1）具体的な操作

初期値を１に設定します。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に２秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を７回押して、初期値の設定に合わせます。

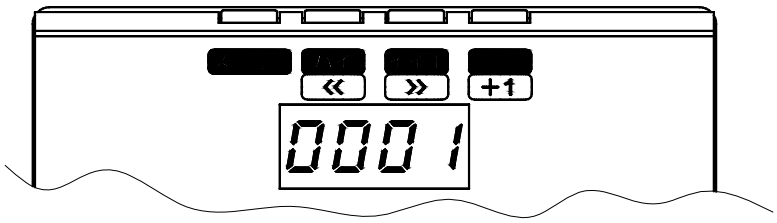
③［ **ハイ** ］を押すと現在の初期値を点滅表示します。
［《 ］［ 》］で移動させ［ ＋１ ］を押して １ に修正します。

④［**メニュー** ］を押して修正完了となります。

⑤［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

2）設定値の範囲について

各桁の［ ＋１ ］による設定範囲は ０ ～ ９ で ９ の次は ０ になります。




3）注意

複数台使用時の発券番号は制御機（Ｄ－０１）が管理しているため当機能は無効となります。

## ８．ＲＳ－２３２Ｃの設定

ホスト（パソコンやプログラマブルコントローラ）との通信条件を設定します。

### 1）具体的な操作

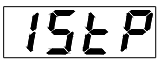
パリティなし、１ストップビット、９６００ｂｐｓに設定します。

①［**メニュー**］と［ **イイエ** ］を同時に2秒以上押します。
右の表示で手を離します。

②［**メニュー**］を８回押して、ＲＳ－２３２Ｃの設定表示に合わせます。

③［ **ハイ** ］を押すと、現在のパリティの設定内容を点滅表示します。
［ **イイエ** ］で設定値が変化します。
［**メニュー**］を押すと設定値を変更せずにストップビットの設定に移ります。

④［ **ハイ** ］を押すとパリティの設定値を記憶し、現在のストップビットが点滅表示されます。
［ **イイエ** ］で設定値が変化します。
［**メニュー**］を押すと設定値を変更せずに通信速度の設定に移ります。




⑤［ **ハイ** ］を押すとストップビットの設定値を記憶し、現在の通信速度が点滅表示されます。
［ **イイエ** ］で設定値が変化します。
［**メニュー**］を押すと設定値を変更せずに発券方法の設定に移動します。

⑥［ **ハイ** ］を押すと通信速度の設定値を記憶して設定完了となります。

⑦［ **紙送り** ］を２回押すと通常表示に戻ります。

### 2）設定値の内容について

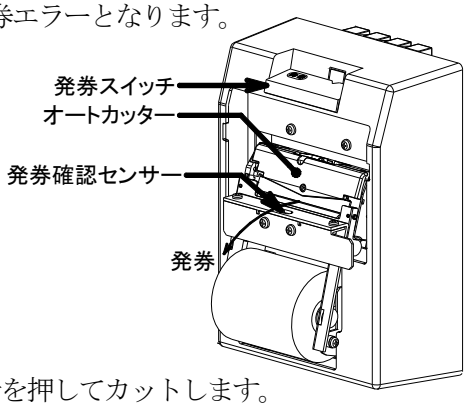
［ **イイエ** ］で変わります。

| | | |
|---|---|---|
| パリティ | パリティなし | nonP |
| | 偶数パリティ | P_En |
| | 奇数パリティ | P_od |
| ストップビット | １ストップビット | 1StP |
| | ２ストップビット | 2StP |
| 通信速度（ｂｐｓ） | ２４００ | 2400 |
| | ４８００ | 4800 |
| | ９６００ | 9600 |
| | １９２００ | 192H |
| | ３８４００ | 384H |

## ロ　発券エラーについて

1．発券エラーの発生

発券した用紙が発券確認センサーを通過しない場合は発券エラーとなります。




2．エラー時の状態

HELP を点滅表示します。

3．解除方法

1) カバーを取り外します。

2) 発券された用紙を取り除きます。

この時用紙がカットされていなければ紙送りスイッチを押してカットします。

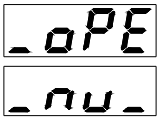
3) 用紙のセットが間違いなければカバーを取り付けます。

4) 操作スイッチのいずれかを押すと通常表示に戻ります。

5) エラー発生時の券を再発行する場合は発券番号を指定することで可能です。

①[ **メニュー** ]と[ **ハイ** ]を同時に２秒以上押します。

②右の表示で手を離します。

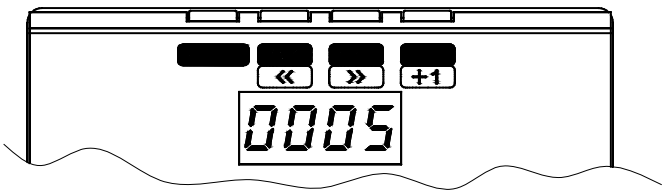



③[ **メニュー** ]を１回押して、発券番号を選択します。

④[ **ハイ** ]を押して現在の番号を確認します。

⑤そのまま[ **メニュー** ]を押して点滅を止め、[ **ハイ** ]を押し、
[ **紙送り** ]で通常表示に戻します。

⑥発券させると発生時と同じ番号を印字します。
(時刻印字がある場合は現在時刻を印字します)




4．注意

1) HELP 表示後に電源が再投入された場合でも、上記の再発行の手順により同番号を発券することが可能です。

2) 登録されていない発券内容を選択した場合でも発券エラーとなります。

3) 用紙を取り除く時に P_E_ の表示（ペーパーエンド）がされた場合、自動発券モードでは用紙のセット後に発券スイッチを押して用紙セット完了としてください。
（手動発券モードでは押す必要はありません）

## 口　発券中のペーパーエンドについて

発券中にペーパーエンドになると発券を停止します。
電源を切らずにロール紙の交換を行います。

1．カバーを取り外します。
2．ホルダー部を開いて残っている記録紙を取り除きます。
3．ロール紙をセットします。
4．カバーを取り付けます。
5．自動発券モードの場合は発券スイッチを押してセット完了となります。
（手動発券モードの場合は押す必要はありません）
6．印字内容が残っていると自動的に印字を開始します。
印字された券が使用できるのであればそのまま使用してください。使用できないのであれば発券番号を指定することで再発行が可能です。

1) [ **メニュー** ]と[ **ハイ** ]を同時に２秒以上押します。

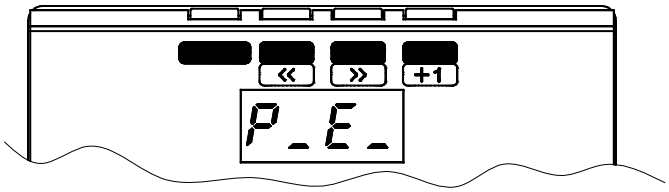
2) 右の表示で手を離します。

3) [ **メニュー** ]を１回押して、発券番号を選択します。

4) [ **ハイ** ]を押して現在の番号を確認します。

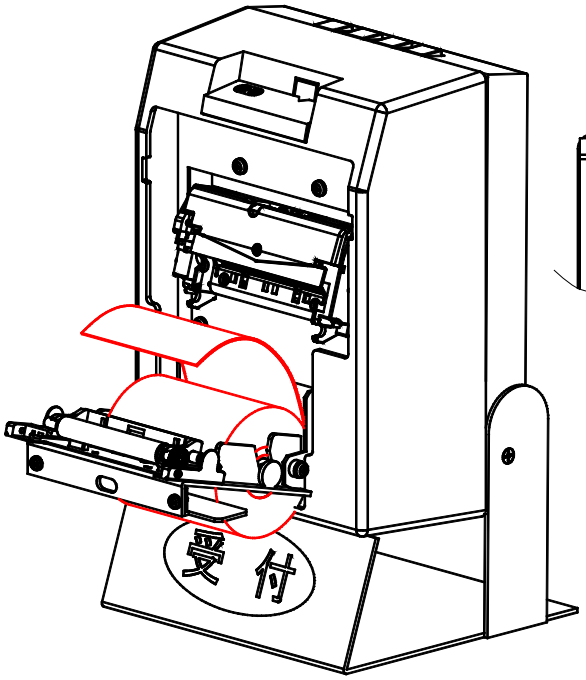
5) そのまま[ **メニュー** ]を押して点滅を止め、[ **ハイ** ]を押し、
[ **紙送り** ]で通常表示に戻します。

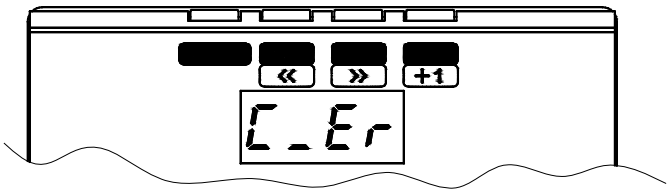
6) 発券させると発生時と同じ番号を印字します。
（時刻印字がある場合は現在時刻を印字します）



## □　紙づまり時の対応

1．カバーを開けホルダー部を開いて紙づまりの原因を除去します。




紙づまり等でオートカッターの動作が正常でない時に表示されます。

2．ロール紙のセットを行います。
　自動発券モードの場合は発券スイッチを押してセット完了となります。
　（手動発券モードの場合は押す必要はありません）

3．再発券の方法

1) ［ **メニュー** ］と［ **ハイ** ］を同時に２秒以上押します。

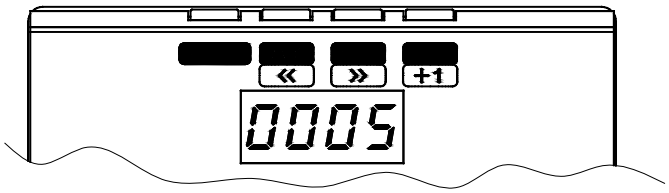
2) 右の表示で手を離します。

3) ［ **メニュー** ］を１回押して、発券番号を選択します。

4) ［ **ハイ** ］を押して現在の番号を確認します。

5) そのまま［ **メニュー** ］を押して点滅を止め、［ **ハイ** ］を押し、
　［ **紙送り** ］で通常表示に戻します。

6) 発券させると発生時と同じ番号を印字します。
　（時刻印字がある場合は現在時刻を印字します）




4．注意
　たびたびエラーが発生する場合はオートカッターの故障か、寿命が考えられます。
　オートカッターの交換は工場引き取りとなります。
　オートカッターの寿命は１００万カットとなっています。

## ロ　テスト印字について

紙送りスイッチを押しながら電源を入れるとテスト印字を行います。
押している間印字し、押すのをやめると通常の使用状態になります。

## 口　表示について

1．表示一覧

| 内　　容 | 表　　示 | 備　　考 | エラー時の解除方法 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|---|---|---|
| ① 電源投入時 | 0 | 点灯 | 正常表示 | 9 |
| ② 発券番号表示 | 1234 | 9　0～9<br>99　10～99<br>999　100～999<br>9999　1000～9999 | 正常表示 | 9 |
| ③ 発券停止 | ---- | 輝度低下 | 午前６時に自動復帰<br>操作スイッチの操作 | 14 |
| ④ 操作モード<br>Operation | _oPE | 点灯 | 正常表示 | 10 |
| ⑤ ペーパーエンド時<br>Paper end | P_E_ | 点滅 | 記録紙をｾｯﾄする | 7,22 |
| ⑥ ヘッドアップ時<br>Head up | H_UP | 点滅 | ﾚﾊﾞｰを元の位置へ戻す | 7 |
| ⑦ 発券番号指定<br>Number | _nu_<br>4123 | 点灯<br>設定桁のみ点滅 | 正常表示 | 10 |
| ⑧ 発券内容の指定時<br>Format | _For<br>F-03 | 点灯<br>設定桁のみ点滅 | 正常表示 | 11 |
| ⑨ 日付時刻修正時<br>Adjustment | _AdJ<br>0001 | 点灯<br>設定桁のみ点滅 | 正常表示 | 12 |
| ⑩ 設定モード<br>Setup | _SEt | 点滅 | | 13 |
| ⑪ 発券選択<br>Type | tYPE<br>HAnd<br>AUto | 点灯<br>手動　点滅<br>自動　点滅 | 正常表示 | 13 |
| ⑫ 受付終了時刻の設定時<br>Close(終了) | _CLS<br>S-18 | 点灯<br>点滅 | 正常表示 | 14 |
| ⑬ リセット時刻設定時<br>0_Clear | 0_CL<br>C-08 | 点灯<br>点滅 | 正常表示 | 15 |
| ⑭ 発券枚数設定時<br>Pay | _PAY<br>P--2 | 点灯<br>点滅 | 正常表示 | 16 |
| ⑮ カット方法設定時<br>Cut | _CUt<br>HArF<br>FULL | 点灯<br>ハーフカット　点滅<br>フルカット　点滅 | 正常表示 | 17 |
| ⑯ 印字濃度設定時<br>Dark | _dAr<br>d--2 | 点灯<br>点滅 | 正常表示 | 18 |
| ⑰ 初期値の設定時<br>初期値 number | S_nu<br>0001 | 点灯<br>設定桁のみ点滅 | 正常表示 | 19 |
| ⑱ 通信条件の設定時 | 232C | 点灯 | | 20 |
| ⑲ パリティ設定時 | nonP<br>P_En<br>P_od | パリティなし　点滅<br>偶数パリティ　点滅<br>奇数パリティ　点滅 | 正常表示 | 20 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ⑳ ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ設定時 | 1StP<br>2StP | １ストップビット　点滅<br>２ストップビット　点滅 | 正常表示 | 20 |
| ㉑ 転送速度設定時 | 2400<br>4800<br>9600<br>192H<br>384H | ２４００BPS　点滅<br>４８００BPS　点滅<br>９６００BPS　点滅<br>１９２００BPS　点滅<br>３８４００BPS　点滅 | 正常表示 | 20 |
| ㉒ 発券エラー | HELP | 点滅 | 発券エラーの項目参照 | 21 |
| ㉓ 温度エラー | CALL | 点滅 | モーターの過熱,印字ﾍｯﾄﾞの故障 | — |
| ㉔ カッターエラー | C_Er | 点滅 | 紙づまり時の対応参照 | 23 |
| ㉕ カードエラー | SdEr | 点滅 | カードの交換 | 28 |
| ㉖ フレーミングエラー | F_Er | 点滅 | 通信エラー 取扱説明書参照 | — |
| ㉗ オーバーランエラー | o_Er | 点滅 | 通信エラー 取扱説明書参照 | — |
| ㉘ パリティエラー | P_Er | 点滅 | 通信エラー 取扱説明書参照 | — |

２．項目㉓の温度エラーについて
プリンタ内部の温度を監視し、異常発熱があると表示します。
1)紙送りモーターの過熱
2)カッターモーターの過熱
3)印字ヘッドの過熱
4)印字ヘッドの温度監視サーミスタ（感温素子）の故障
表示中に発券や紙送り動作は出来ません。
どの操作スイッチでも表示を解除できますが、異常な状態が継続していると引き続き当表示となります。

３．項目㉔のカッターエラーについて
カッターエラーが発生すると項目㉓の温度エラー同様プリンタは停止します。

４．項目㉕のカードエラーについて
内蔵メモリーカードとの通信が出来なくなると表示されます。
通常電源投入時に表示されます。
（設定モードを除いて電源投入時にのみ通信するため）
交換方法については別項 □ メモリーカードの交換 を参照してください。

５．㉖ ㉗ ㉘ の通信エラーについて
パソコン等をＲＳ－２３２Ｃで接続している場合に発生することがあるエラーです。
詳細は取扱説明書（Ⅰ-7）を参照してください。
操作スイッチのいずれかを押すと解除されます。
当機の電源が入ったままで接続されているホスト機器（パソコン等）の電源を入り切りすると F_Er が発生する場合があります。

６．表示についての注意
ＬＥＤ表示による表示は通常発券した番号を表示するようになっています。
ただし、次の場合には次に発券する番号を表示します。
4)発券番号のリセットによる初期値の表示。
5)操作スイッチにより発券番号を修正した場合。

## □　内臓時計と停電対策用電池について

1．内臓時計

1) 精度　　月差　±３０秒

2) 停電対策　　ニッカド充電池によるバックアップを実施

3) バックアップ期間　　１ヶ月

2．停電対策用電池

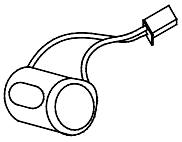
1) 電池寿命　　充放電５００回または5年の使用

2) 充電方法　　フローティング充電方式（電源が入っている時間が充電時間となります）

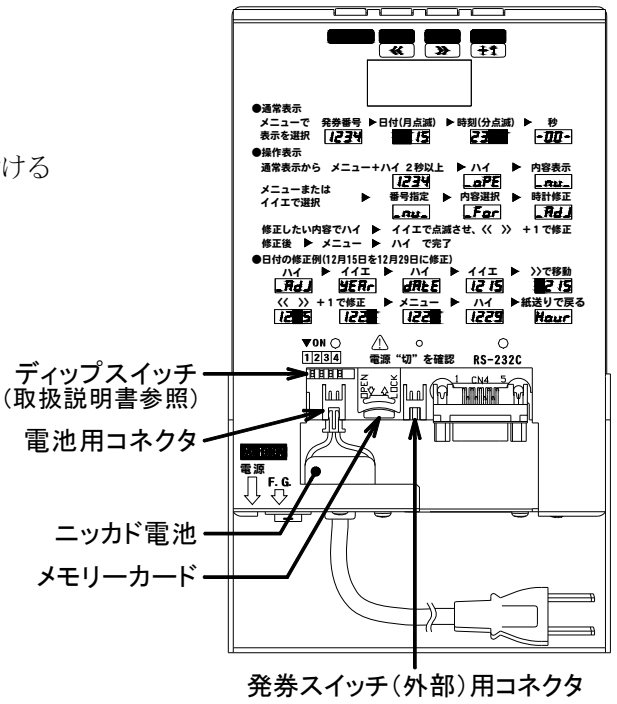
3) 注意　　プリンタの電源は使用後も切らない様にしてください。
８時間の使用で毎日電源を切った場合には、放電時間が充電時間より長いために電池を消耗し、使用する時に日付、時刻の修正が必要になる場合があります。(電池は４８時間以上の連続通電で充電されます。)

3．電池交換

1) プリンタの電源を切る
2) 背面カバーを取りはずす
3) 電池ユニットのコネクタを抜く
4) 電池ユニットを交換
5) 電池ユニットのコネクタを取り付ける
6) プリンタの電源を入れる
7) 日付、時刻の修正を行う



電池ユニット

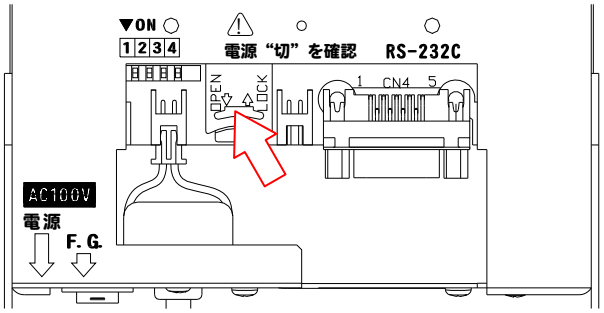


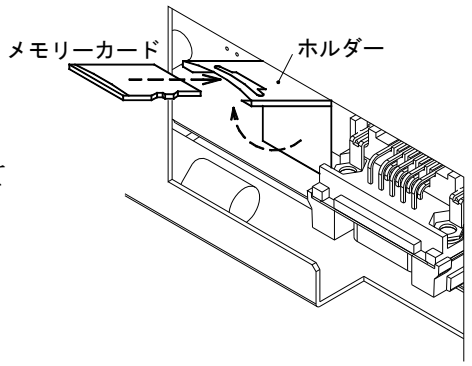
## □　メモリーカードについて

1．メモリーカードには 1) 設定情報、2) ９９種の各発券データ　が記憶されています。
使用中に取り外すことのないようにしてください。

2．メモリーカードの装着

1) プリンタの電源を切ってください。
2) 背面カバーを取りはずします。
3) 右図矢印の穴に爪をひっかけ、
下げます。（カチッと音がします。）
メモリーカードのホルダーが手前に
動きます
4) 装着時、メモリーカードは方向を
確認し ホルダーの左側にそって挿入
してください。
5) ホルダーを元の位置に戻します。
上に押し込んでＬＯＣＫしてください。




注意：通常、お客様がこの作業を行う事はありません。
誤って取り外してしまった時の対応として記載して
います。

## □　メンテナンスの方法

1．サーマルヘッドのクリーニング
用紙カス、異物等によりヘッドやプラテンの寿命を損なう場合があります。定期的に清掃を行ってください。

2．長期間使用しない場合
長期保存（常温にて半年以上）する場合は、記録紙をはさみ、ヘッドアップ状態にしてください。
又、短期保存の場合でも記録紙は、はさんだ状態にしてください。
ゴムローラとピンチローラ及びヘッドが直接接触した状態が長期に続いた場合にはゴムローラが　部分的に変形し、印字ムラが発生する危険性があります。
結露の可能性のある環境では、電食防止のため、通電状態で長時間放置しないでください。
又、ロール紙をセットしたまま放置しますと、ロール紙の変色、退色、プラテンとの貼り付きが発生する場合があります。このような時は、新しいロール紙に交換してください。

## □　消耗品の購入について

1．ロール紙

| 型式 | 外径 | 長さ | 紙厚 | 購入単位 |
|---|---|---|---|---|
| ＮＰ－５８０ | φ５０ | ３０ｍ | ６４μ | １０巻 |

## 口　発券内容と指定番号について

1. ＬＥＤ表示を -oPE から -For として選択します。
　　専用の発券内容を希望される場合は販売店に御相談下さい。

2. 発券例１

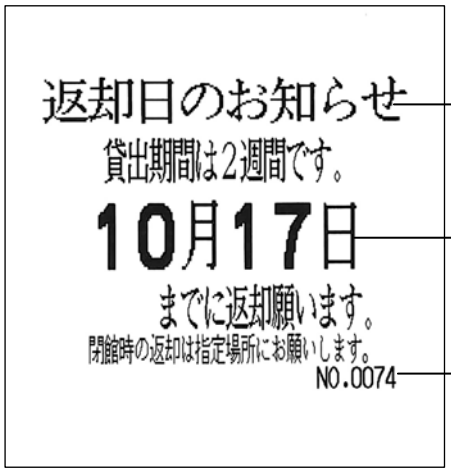
券名称
発券日時
発券番号
バーコード

1) 種類　ＩＴＦ（チェックデジット無し）
2) 印字フォーマット

| 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 | 番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|

２０１０年5月２５日１３時４７分２３秒に
０１４９番を発券すると
1005251347230149　の内容で印字されます。

3. 発券例２




券名称
返却期限
　内蔵時計を２週間進めて使用します。
発券番号

索引

F-01 **受付票** 日時 番号
F-02 **受付票** 日時 番号 バーコード
F-03 **受付票** 日時 番号 待ち時間 30 分
F-04 **受付票** 日時 番号 待ち時間 45 分
F-05 **受付票** 日時 番号 待ち時間 1 時間
F-06 **受付票** 日時 番号 待ち時間 1 時間 30 分
F-07 **受付票** 日時 番号 待ち時間 2 時間
F-08 **受付票** 日時 番号 番号の案内があるまでお待ち下さい
F-09 **受付票** 日時 番号 番号が表示されるまでお待ち下さい

F-10 **延着証明** 日時 15 分
F-11 **延着証明** 日時 30 分
F-12 **延着証明** 日時 45 分
F-13 **延着証明** 日時 1 時間
F-14 **延着証明** 日時 1 時間 30 分
F-15 **延着証明** 日時 2 時間
F-16 **延着証明** 日時 3 時間
F-17 **延着証明** 日時 到着が遅れました事お詫びいたします。当券で延着を証明いたします。
F-18 **延着証明** 日時 運行ダイヤが乱れ到着が遅れました事お詫びいたします。

F-19 **整理券** 日時 番号
F-20 **整理券** 日時 番号 バーコード
F-21 **整理券** 日時 番号 待ち時間 30 分
F-22 **整理券** 日時 番号 待ち時間 45 分
F-23 **整理券** 日時 番号 待ち時間 1 時間
F-24 **整理券** 日時 番号 待ち時間 1 時間 30 分
F-25 **整理券** 日時 番号 待ち時間 2 時間
F-26 **整理券** 日時 番号 番号の案内があるまでお待ち下さい
F-27 **整理券** 日時 番号 番号が表示されるまでお待ち下さい

F-28 **立入許可証** 日時 番号 係員に掲示を求められる場合があります。
F-29 **立入許可証** 日時 番号 紛失注意。係員に提出してください
F-30 **立入許可証** 日時 番号 バーコード

F-31 **退室証** 退室時刻
F-32 **退室証** 退室時刻 バーコード
F-33 **退室証** 紛失注意。再発行しません。 退室時刻 係員へ提出してください。
F-34 **退室証** 紛失注意。再発行しません。 退室時刻 係員へ提出してください。 バーコード
F-35 **退室証** 紛失注意。再発行しません。 退室時刻 受付に提出してください。
F-36 **退室証** 紛失注意。再発行しません。 退室時刻 受付に提出してください。 バーコード

F-37 **駐車券** 日時 番号 本日限り有効
F-38 **駐車券** 日時 番号 番号の案内がまるまでお待ち下さい
F-39 **駐車券** 日時 番号 バーコード
F-40 **駐車券** 日時 番号 1 時間無料 バーコード
F-41 **駐車券** 日時 番号 2 時間無料 バーコード
F-42 **駐車券** 日時 番号 3 時間無料 バーコード
F-43 **駐車券** 日時 番号 4 時間無料 バーコード
F-44 **駐車券** 日時 番号 終日無料 バーコード
F-45 **駐車券** 日時 番号 当駐車場は本日ご利用できません。他の駐車場をご利用願います。 バーコード

F-46 **抽選券** 日時 番号
F-47 **抽選券** 日時 番号 本日限り有効
F-48 **抽選券** 日時 番号 本日中に抽選場までお持ちください

F-49　**入室証**　入室時刻
F-50　**入室証**　入室時刻　バーコード
F-51　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻
F-52　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻　バーコード
F-53　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻　退室時返却してください。
F-54　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻　退室時返却してください。　バーコード
F-55　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻　係員へ提出してください。
F-56　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻　係員へ提出してください。　バーコード
F-57　**入室証**　紛失注意。再発行しません。　入室時刻　案内があるまでお待ちください。

F-58　**入場券**　日時　番号　本日限り有効
F-59　**入場券**　日時　番号　番号の案内があるまでお待ちください
F-60　**入場券**　日時　番号　バーコード

F-61　**入門証**　日時　番号　本日限り有効
F-62　**入門証**　日時　番号　番号の案内があるまでお待ち下さい
F-63　**入門証**　日時　番号　バーコード

F-64　**引換券**　日時　番号
F-65　**引換券**　日時　番号　バーコード
F-66　**引換券**　日時　番号　先に会計を済ませてください。
F-67　**引換券**　日時　番号　先に会計を済ませてください。　バーコード
F-68　**引換券**　日時　番号　本日限り有効
F-69　**引換券**　日時　番号　本日限り有効　バーコード
F-70　**引換券**　日時　番号　本日中に窓口までお持ちください。
F-71　**引換券**　日時　番号　番号の案内があるまでお待ち下さい
F-72　**引換券**　日時　番号　番号が表示されるまでお待ち下さい

F-73　**返却日のお知らせ**　貸出期間は2週間です。　日付
F-74　**返却日のお知らせ**　貸出期間は2週間です。　日付　閉館時の返却は指定場所にお願いします
F-75　**返却日のお知らせ**　貸出期間は2週間です。　日付　遅れる場合は連絡願います
F-76　**返却日のお知らせ**　貸出期間は2週間です。　日付　バーコード
F-77　**返却日のお知らせ**　貸出期間は2週間です。　日付　閉館時の返却は指定場所にお願いします　バーコード
F-78　**返却日のお知らせ**　貸出期間は2週間です。　日付　遅れる場合は連絡願います。　バーコード

F-79　**本日の受付は終了しました。**
F-80　**本日の営業は終了しました。**
F-81　**本日の業務は終了しました。**

F-82　**待時間**　日時　15分　バーコード
F-83　**待時間**　日時　30分　バーコード
F-84　**待時間**　日時　45分　バーコード
F-85　**待時間**　日時　1時間　バーコード
F-86　**待時間**　日時　1時間30分　バーコード
F-87　**待時間**　日時　2時間　バーコード
F-88　**待時間**　日時　3時間　バーコード
F-89　**待時間**　日時　大変混雑しています。待ち時間はお問い合わせください。
F-90　**待時間**　日時　受付を停止しています。再開時は連絡いたします。

F-91　**面会票**　日時　番号　番号の案内があるまでお待ち下さい
F-92　**面会票**　日時　番号　終了時受付へ提出願います。
F-93　**面会票**　日時　番号　バーコード

F-94　**割引券**　発行日時　本日限り有効です。当店のみご使用できます。
F-95　**割引券**　発行日時　本日限り有効です。全店でご使用できます。
F-96　**割引券**　発行日時　本日限り有効　当店指定製品のみ割り引きます。
F-97　**割引券**　発行日時　10%ＯＦＦ　当店のみご使用できます。
F-98　**割引券**　発行日時　20%ＯＦＦ　当店のみご使用できます。
F-99　**割引券**　発行日時　50%ＯＦＦ　当店のみご使用できます。

F-01

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時39分

1

F-02

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時55分

2

F-03

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時57分

3

待ち時間 30分

F-04

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時58分

4

待ち時間 45分

F-05

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時58分

5

待ち時間 1時間

F-06

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時58分

6

待ち時間 1時間30分

F-07

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時58分

7

待ち時間 2時間

F-08

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時58分

8

番号の案内があるまでお待ち下さい

F-09

□□□□受付票□□□□

2011年10月17日08時58分

9

番号が表示されるまでお待ち下さい

F-10

F-11

F-12

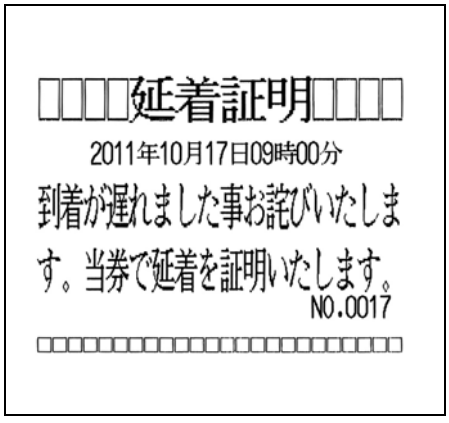
F-13

F-14

F-15

F-16

F-17




F-18

F-19

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時00分

19

F-20

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時00分

20

F-21

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時01分

21

待ち時間　30分

F-22

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時01分

22

待ち時間　45分

F-23

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時01分

23

待ち時間　1時間

F-24

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時01分

24

待ち時間　1時間30分

F-25

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時01分

25

待ち時間　2時間

F-26

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時01分

26

番号の案内があるまでお待ち下さい

F-27

□□□□□整理券□□□□□

2011年10月17日09時02分

27

番号が表示されるまでお待ち下さい

F-28

□□□立入許可証□□□

2011年10月17日09時02分

28

掲示を求められる場合があります。

F-29

□□□立入許可証□□□

2011年10月17日09時02分

29

紛失注意。係員に提出してください

F-30

□□□立入許可証□□□

2011年10月17日09時02分

30

F-31

□□□□□退室証□□□□□

退室時刻10月17日09時02分

NO.0031

F-32

□□□□□退室証□□□□□

退室時刻10月17日09時02分

NO.0032

F-33

□□□□□退室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

退室時刻10月17日09時03分

係員へ提出してください。

NO.0033

F-34

□□□□□退室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

退室時刻10月17日09時03分

係員へ提出してください。

NO.0034

F-35

□□□□□退室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

退室時刻10月17日09時03分

受付に提出してください。

NO.0035

F-36

□□□□□退室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

退室時刻10月17日09時03分

受付に提出してください。

NO.0036

F-37

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時03分

37

本日限り有効

F-38

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時03分

38

番号の案内があるまでお待ち下さい

F-39

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時03分

39

F-40

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時04分

1時間無料

NO.0040

F-41

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時04分

2時間無料

NO.0041

F-42

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時04分

3時間無料

NO.0042

F-43

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時04分

4時間無料

NO.0043

F-44

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時04分

終日無料

NO.0044

F-45

□□□□駐車券□□□□

2011年10月17日09時20分

当駐車場は本日ご利用できません。
他の駐車場をご利用願います。

NO.0045

F-46

□□□□□抽選券□□□□□

2011年10月17日09時21分

46

F-47

□□□□□抽選券□□□□□

2011年10月17日09時07分

47

本日限り有効

F-48

□□□□□抽選券□□□□□

2011年10月17日09時07分

48

本日中に抽選場までお持ちください

F-49

□□□□□入室証□□□□□

入室時刻10月17日09時07分

NO.0049

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

F-50

□□□□□入室証□□□□□

入室時刻10月17日09時07分

NO.0050

F-51

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

NO.0051

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

F-52

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

NO.0052

F-53

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

退室時返却してください。

NO.0053

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

F-54

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

退室時返却してください。

NO.0054

F-55

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

係員へ提出してください。

NO.0055

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

F-56

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

係員へ提出してください。

NO.0056

F-57

□□□□□入室証□□□□□

紛失注意。 再発行しません。

入室時刻10月17日09時08分

案内があるまでお待ちください。

NO.0057

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

F-58

□□□□□入場券□□□□□

2011年10月17日09時09分

58

本日限り有効

F-59

□□□□□入場券□□□□□

2011年10月17日09時09分

59

番号の案内があるまでお待ち下さい

F-60

□□□□□入場券□□□□□

2011年10月17日09時09分

60

F-61

□□□□□入門証□□□□□

2011年10月17日09時09分

61

本日限り有効

F-62

□□□□□入門証□□□□□

2011年10月17日09時09分

62

番号の案内があるまでお待ち下さい

F-63

□□□□□入門証□□□□□

2011年10月17日09時09分

63

F-64

F-65

F-66

F-67

F-68

F-69

F-70

F-71

F-72

F-73

返却日のお知らせ
貸出期間は2週間です。
10月17日
までに返却願います。
NO.0073

F-74

返却日のお知らせ
貸出期間は2週間です。
10月17日
までに返却願います。
閉館時の返却は指定場所にお願いします。
NO.0074

F-75

返却日のお知らせ
貸出期間は2週間です。
10月17日
までに返却願います。
遅れる場合は連絡願います。
NO.0075

F-76

返却日のお知らせ
貸出期間は2週間です。
10月17日
までに返却願います。
NO.0076

F-77

返却日のお知らせ
貸出期間は2週間です。
10月17日
までに返却願います。
閉館時の返却は指定場所にお願いします。
NO.0077

F-78

返却日のお知らせ
貸出期間は2週間です。
10月17日
までに返却願います。
遅れる場合は連絡願います。
NO.0078

F-79

本日の受付は
終了しました。

F-80

本日の営業は
終了しました。

F-81

本日の業務は
終了しました。

F-82

F-83

F-84

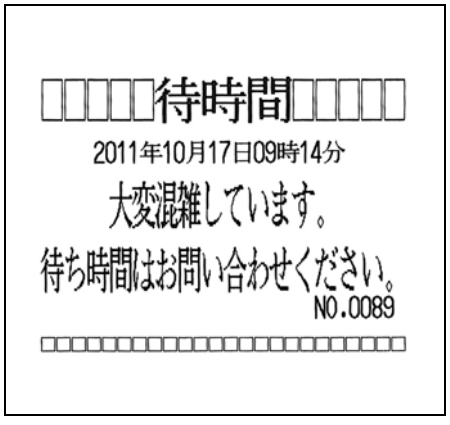
F-85

F-86

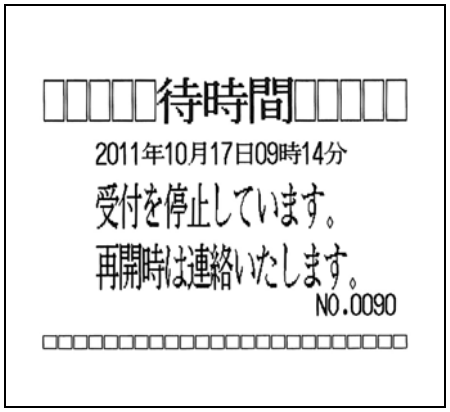
F-87

F-88

F-89




F-90



F-91

□□□□□面会票□□□□□

2011年10月17日09時14分

91

番号の案内があるまでお待ち下さい

F-92

□□□□□面会票□□□□□

2011年10月17日09時14分

92

終了時受付へ提出願います。

F-93

□□□□□面会票□□□□□

2011年10月17日09時14分

93

F-94

□□□□□割引券□□□□□

発行日　10月17日09時14分

本日限り有効です。

当店のみご使用できます。

NO.0094



F-95

□□□□□割引券□□□□□

発行日　10月17日09時14分

本日限り有効です。

全店でご使用できます。

NO.0095



F-96

□□□□□割引券□□□□□

発行日　10月17日09時15分

本日限り有効

当店指定製品のみ割り引きます。

NO.0096



F-97

□□□□□割引券□□□□□

発行日　10月17日09時15分

10%OFF

当店のみご使用できます。

NO.0097

F-98

□□□□□割引券□□□□□

発行日　10月17日09時15分

20%OFF

当店のみご使用できます。

NO.0098

F-99

□□□□□割引券□□□□□

発行日　10月17日09時15分

50%OFF

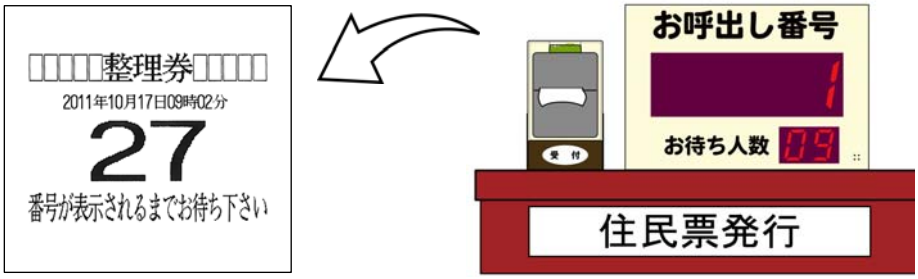
当店のみご使用できます。

NO.0099

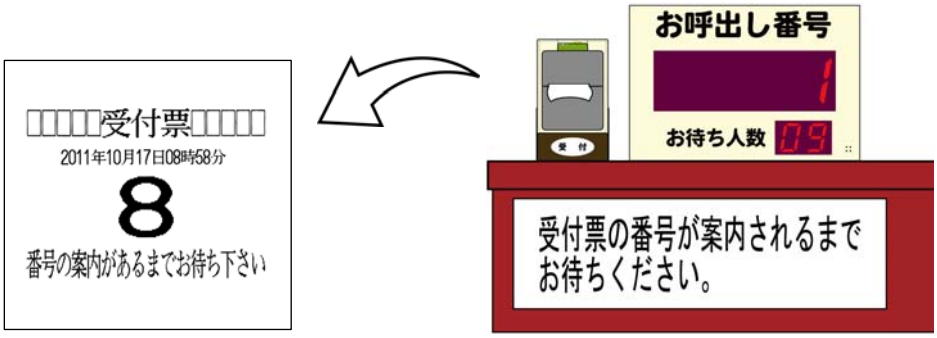
## 口　使用例

1．公共機関の窓口

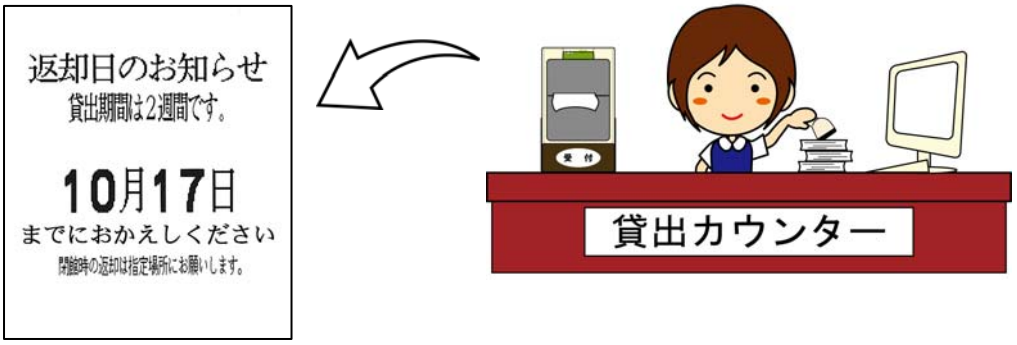
1）市役所，区役所の書類発行窓口




2）ハローワーク，社会保険事務所

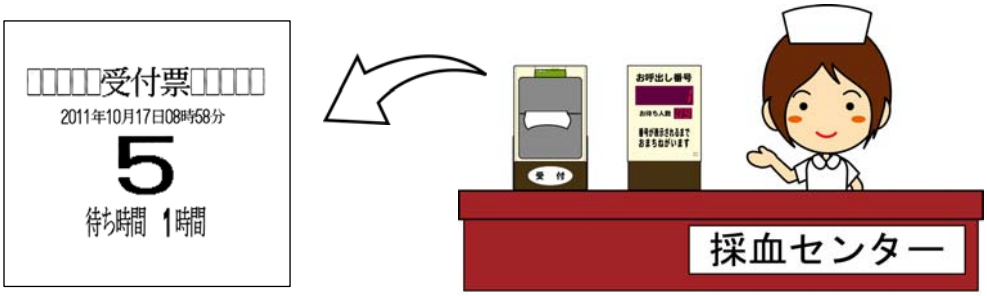



3）図書館

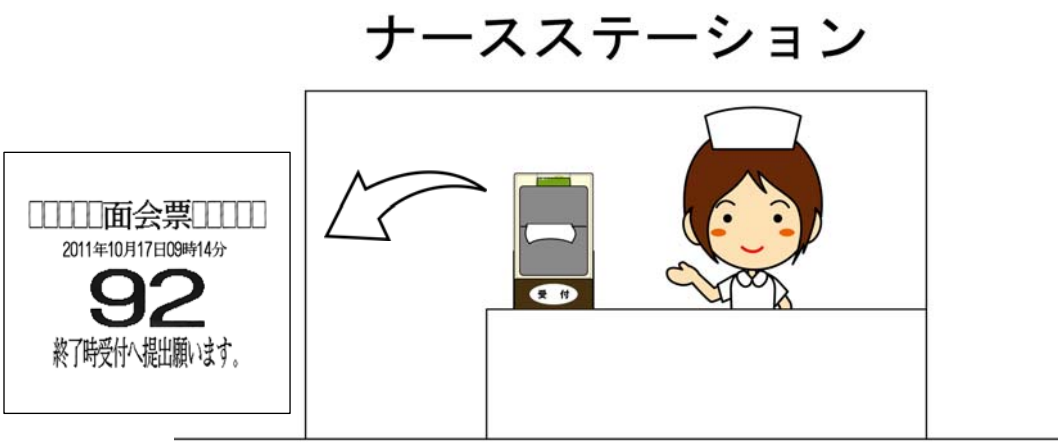


2．病院

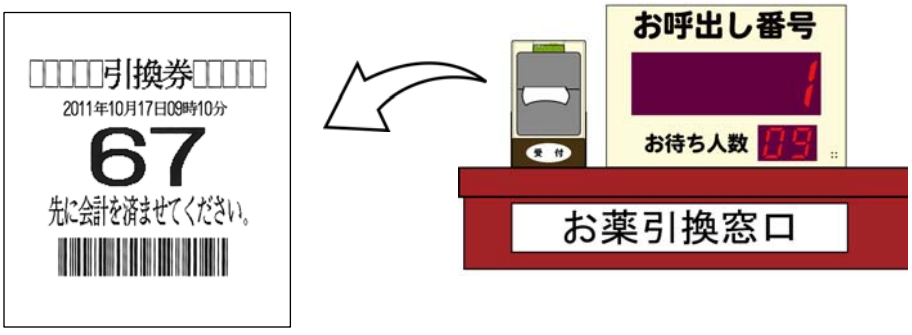
1）採血センター



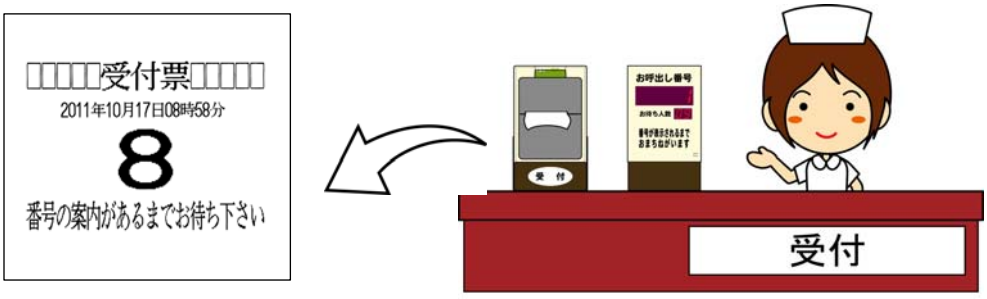

2）ナースステーション



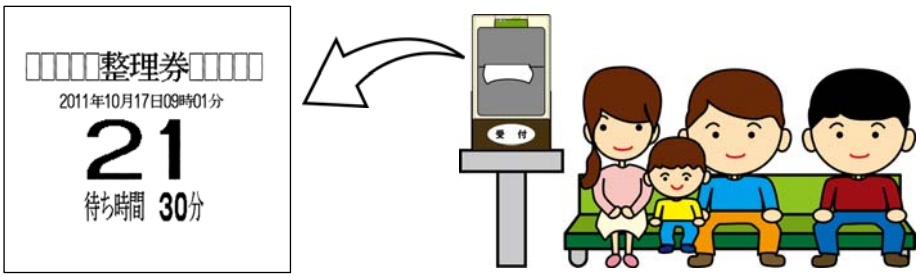

3）お薬引換窓口



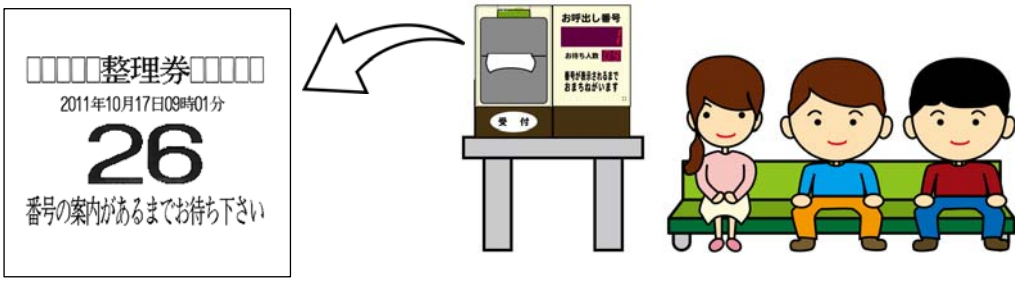

4）小規模個人病院



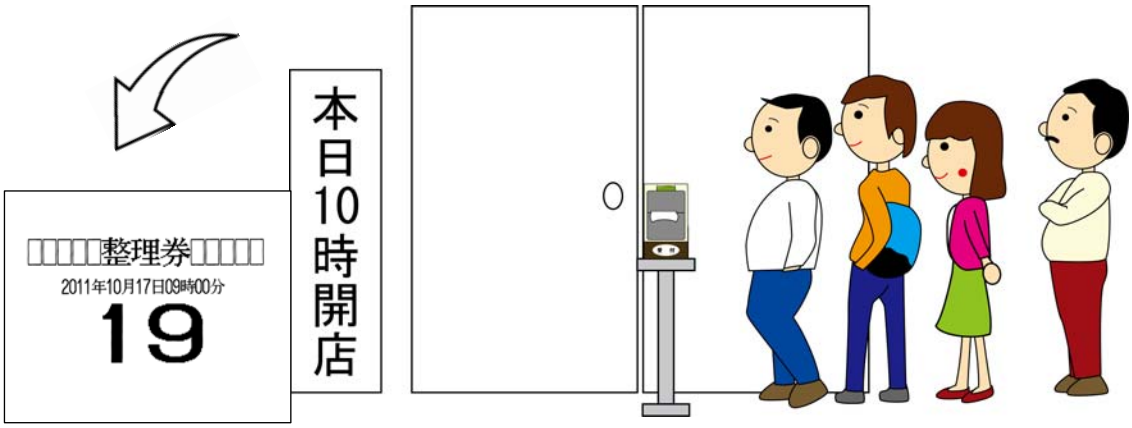
３．飲食店




４．携帯電話ショップ

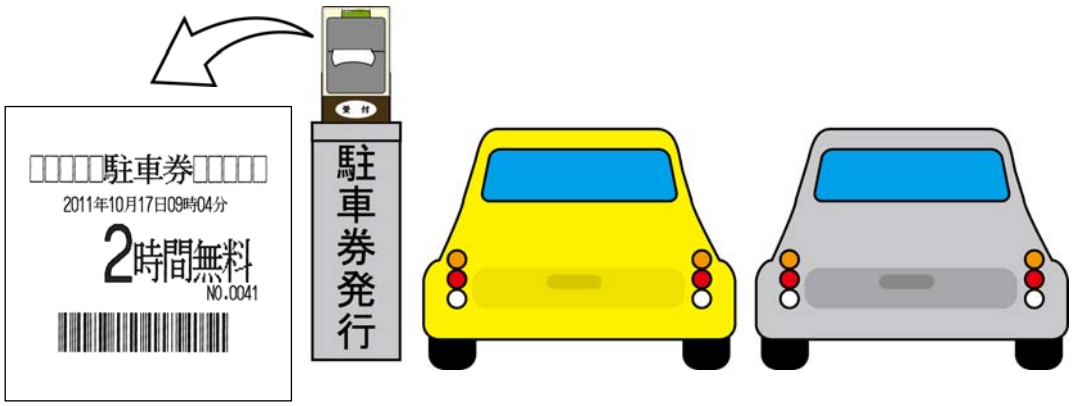



５．開店前の整理券発行

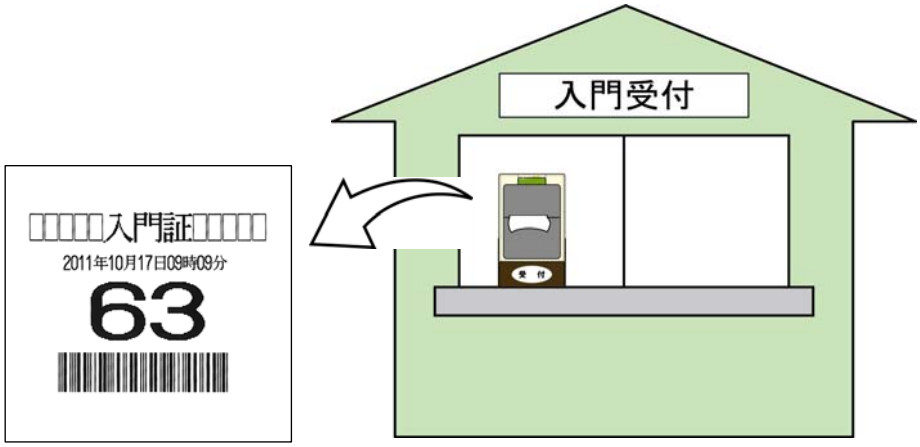



６．イベント会場の入場整理券

7．駐車場

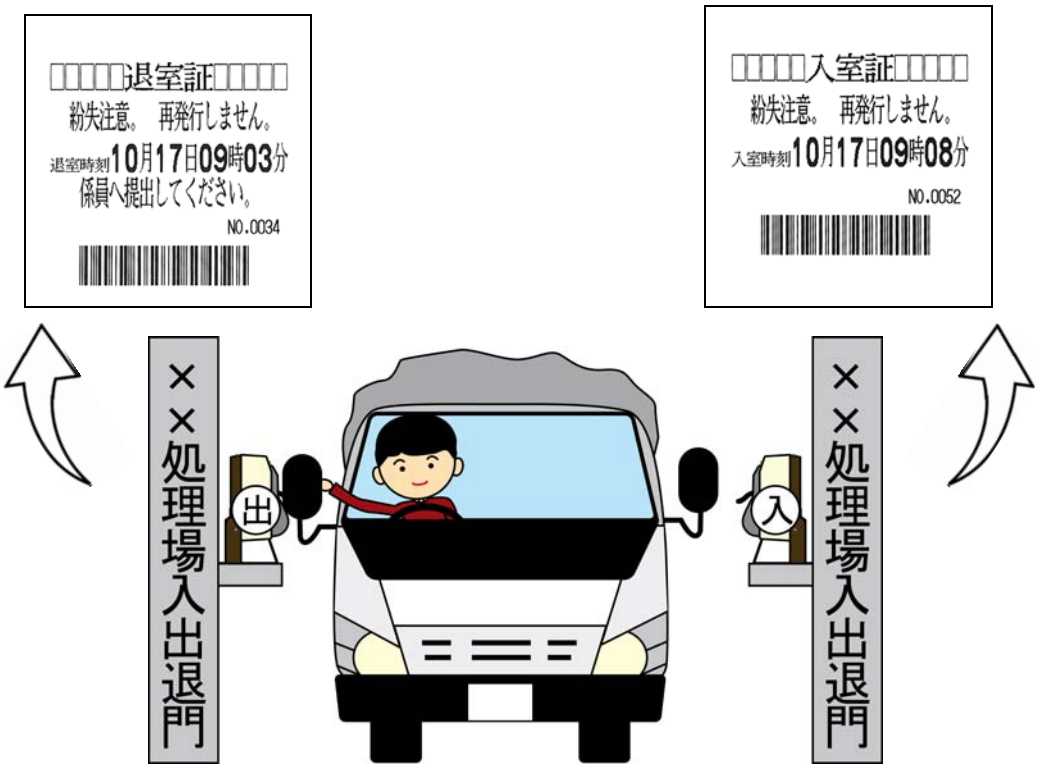



8．工場入口



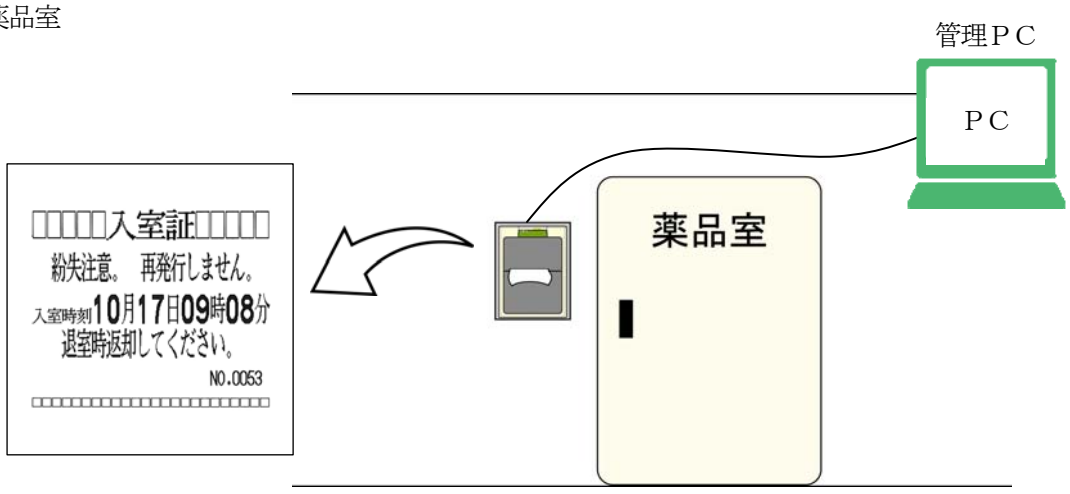

9．立入禁止場所

１０．処理場

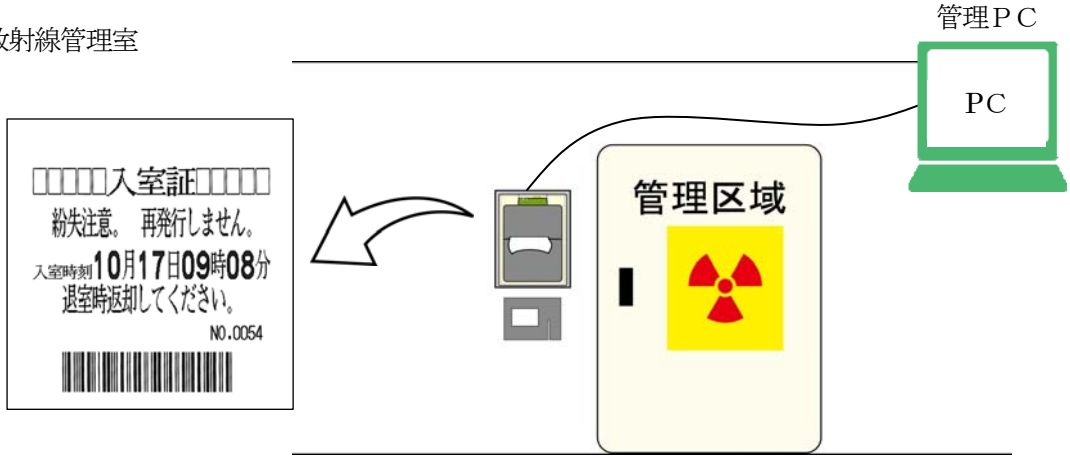



１１．管理区域への入出退管理

1）薬品室




2）放射線管理室



NADA


ナダ電子株式会社

本　　社　神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号　〒658-0015
TEL(078)413-1111　FAX(078)412-2222

東　京(営)　東京都港区芝4丁目5-11　芝プラザビル　〒108-0014
TEL(03)3455-4230　FAX(03)3455-4249

名古屋(営)　名古屋市名東区上社1-1304　北村第三ビル　〒465-0025
TEL(052)776-1921　FAX(052)775-6080

福　岡(営)　福岡市博多区博多駅南1丁目7-16　オーリン7号ビル　〒812-0016
TEL(092)471-8305　FAX(092)471-8355

仙　台(営)　仙台市宮城野区榴岡5丁目1番15号　〒983-0852
TEL(022)256-0211　FAX(022)292-1610